

4月会長定例記者会見

Q. NHK予算・事業計画の承認等について

A. (上田会長) 新年度のNHK予算・事業計画は、衆参両院において全会一致によりご承認をいただきました。全会一致での承認は、会長就任以来3年連続であり、広く視聴者のみなさまにご負担をいただく受信料で成り立つNHKにとって、大変意義のあることだと受け止めています。

今回の予算は、10月に予定されている消費税率引き上げの際に受信料の料額を改定せず、実質的な値下げを行うことを盛り込んでいます。事業収支差金はマイナスとなる見通しですが、公平負担の徹底などにより増収の確保に努める一方、事業支出は業務改革の推進などにより一定の適正な水準に収めるよう厳正に管理していきます。

また、今の通常国会には、NHKがテレビ放送をインターネットに常時同時配信することを可能とする放送法改正案が提出されています。NHKは、放送を太い幹としつつ、インターネットを補完的に活用することで「視聴機会の拡大」を目指しています。法改正によって常時同時配信が実現すれば、スマートフォンなどの携帯端末を利用して、「いつでも、どこでも」必要な情報やコンテンツを得られるようになります。今後の放送法改正案の国会審議においては、こうしたNHKの考えや常時同時配信を実施するにあたっての課題に対する取り組みを丁寧にご説明し、関係者や視聴者・国民のみなさまのご理解を得られるよう取り組んでいきます。

平成の終わりに伴って迎える「令和」という新たな時代は、NHKにとっても“公共メディア”の実現という新しい時代になります。放送と通信の融合時代においても、信頼される「情報の社会的基盤」としての役割をしっかりと果たし、NHKが追求する公共的価値の実現に努めてまいります。

Q. ラグビーワールドカップ2019™ 日本大会の放送について

A. (会長) 9月から開催されるラグビーのワールドカップで、NHKでは、ラグビー元日本代表として活躍された五郎丸 歩さんに、大会の放送ナビゲーターとして様々な番組に出演していただくことにしました。

大会期間中の中継番組を始め、スポーツニュースやラグビー関連特番などにご出演いただくほか、NHKが全国各地で開催するラグビー教室の講師も務めていただく予定です。また、ラグビー放送のテーマソングを作ることにしました。歌うのは「Little Glee Monster」です。

ラグビーのワールドカップについて、NHKでは全48試合のうち31試合を放送します。総合テレビでは、日本対アイルランド戦など3試合を生中継で、BS1では、開幕の日本対ロシア戦や決勝など11試合を生中継で伝えるほか、日本対スコットランド戦など17試合を録画でお伝えします。BS8Kでは、日本

対アイルランド戦や決勝など3試合、BS4Kでは日本戦の予選全試合と決勝など6試合をお伝えします。日本対アイルランド戦や決勝などのパブリックビューイングもスーパーハイビジョンで実施する予定です。

(詳細は報道資料参照)

Q. 「未来スイッチ～2020 その先へ」キャンペーンについて

A. (会長) NHKでは、新年度から「未来スイッチ～2020 その先へ」と題して、東京オリンピック・パラリンピックが開かれる2020年をきっかけに身近な暮らしの課題について考えるキャンペーンをスタートします。

「スイッチ」には、「行動のスイッチを入れる」とともに、「考え方ややり方を切り替え、相手の立場に立ってみる」という意味を込めています。東京オリンピック・パラリンピックで社会が変わろうとする2020年に向け、そして2020年以降も見据えて、誰もが暮らしやすい社会を作っていくための解決策を、番組やインターネットなどを中心に、視聴者のみなさまとともに考えていきます。

4月からは、1分と5分のミニ番組をスタートします。春のテーマは「エスカレーターの乗り方のスイッチ」。エスカレーターは、片側を、歩く人にあける習慣がありますが、危険を感じる人もいます。よりよい乗り方とは何なのかを、みなさまとともに考えていきます。

このほか、心臓突然死を防ぐためにAEDの普及をどう進めていくのか、スマホでAEDの設置場所を把握できる仕組み作りを取り上げます。

キャンペーンでは、インターネットの「NHK NEWS WEB」とも連動し、それぞれのテーマについて視聴者からのご意見を募り、寄せられた声や課題解決へのアイデアも、ミニ番組に取り入れて伝えていきます。

(詳細は報道資料参照)

Q. 5月のBS8K番組について

A. (会長) 5月のBS8Kは、エンターテインメントをテーマに、集中的に番組を編成していきます。19日に放送予定の「8Kスーパーサーカス シルク・ドゥ・ソレイユ」は、世界中で人気を博すシルク・ドゥ・ソレイユのショー「キュリオス」を8Kで収録しました。華やかな演出や、息をのむアクロバット、美しいセットや照明、そして独創的な衣装まで、超高精細な映像と22.2チャンネルの音響によって、今まさに会場にいるような、8Kならではの臨場感たっぷりにお届けします。

このほかにも、ミラノ・スカラ座のオペラや、パリ・オペラ座のバレエ、さらに、イギリスの世界的ロックスターのスタンディングと、ジャマイカ出身のレゲエシンガー、シャギーの2人がコラボレーションしたコンサートも放送予定です。

(詳細は報道資料参照)

Q. 技研公開2019について

A. (会長) 最新の放送技術の研究成果を広く一般に公開する「技研公開」を、仮想現実＝VRなどを活用した将来の新しい視聴者サービスの実現に向けた技術

など、24項目の研究成果を展示します。

AR技術を活用した展示では、AR用のメガネやスマートフォンのカメラ機能を利用することで、出演者の3D映像がテレビの前で実物大に見えるような未来の視聴スタイルを体験いただけます。

また、講堂では、8Kの大画面による最新コンテンツの上映を実施します。

週末の6月1日と2日には、研究員が開設する「ガイドツアー」や、子供たちを対象とした工作体験教室などのイベントも開催します。

(詳細は報道資料参照)

Q. 平成30年度の営業業績（見込み）について

A. (会長) 契約総数の増加は67万5千件で、営業目標43万件に対して157.0%、衛星契約の増加は68万1千件で、営業目標58万件に対して117.5%となる見込みです。いずれも営業目標に対しては進捗率が目標を上回り、支払率は82%に達する見込みとなりました。

こうした背景には、法人委託の拡大により訪問員の体制が整ったほか、おととし12月の最高裁判決を受けて自主的に契約を申し出る方が増えたことなどがあると考えています。

今年度は、契約総数増加は43万件、衛星契約増加は58万件をめざし、支払率は83%をめざします。今年度においても、視聴者のみなさまに公共放送の存在意義や受信料制度をご理解いただけるように丁寧に説明し、支払率の向上に努めていきます。

(詳細は報道資料参照)

(以上)